

# 558人社会へ新たな一歩

## 樽商大で学位記授与式

青空が広がった18日、小樽商科大で卒業式にあたる学位記授与式が行われた。

本年度は商学科や経済学科など4学科で夜間も合わせて513人が卒業。大学院を修了した45人とともに新たな一歩を踏み出した。

体育館で行われた式では、和田健夫学長が各学科の代表者に学位記を手渡した。告辞では、グローバル化やデジタル化が進んだ平成という時代を振り返り、「変化する社会や制度に対応する能力が一人一人に求められている。卒業後も学ぶ態度を持ち続け、実行してほしい」とエールを送った。

た。

商学科を巣立つ二瓶美穂さん(23)は高校時代から電子オルガンの全国大会で活躍。樽商大でも1年生の時に米国のパークリー音楽大に短期留学するなど学業と音楽を両立させ、卒業式で表彰を受けた。4月から道外の大手通信会社に就職し、演奏活動も続ける意向。「勉強も音楽も全力で取り組めたのが大学生活の一番の思い出。将来は自分のバンドを持って演奏したい」と夢を語っていた。

(森川潔)  
学位記を授与される卒業生代表者



## 558人が緑丘に別れ！小樽商学位記授与式 (2019/03/18)

[Tweet](#)

558人が緑丘に別れ！小樽商学位記授与式



小樽商科大学(緑3・和田健夫学長)は、3月18日(月)12:30から、同学体育館で、2018(平成30)年度学位記授与式を執り行い、558人が緑丘に別れを告げ、夢に向かってまた一歩あゆみ出した。

羽織袴や真新しいスーツに身を包んだ学部学生513人と帽子やマントを着用した大学院(修士)修了者45人が会場に集まり、来賓・教職員・保護者らが出席し晴れの日を祝った。

各部の代表者が、和田学長から学位記を手渡され、改めて卒業を実感し学生生活を振り返った。



和田学長は、現在経営学・マネジメントの発明者、ピーター・ドラッカーが述べた言葉に触れ、「学び続けることの重要性を強調している。1人1人の人間が自らの人生において、自らの意思において、様々なキャリアを探し進んでいく。まさに、今の時代に当てはまる言葉。私も皆さんに同じ言葉を伝えたい。皆さんが小樽商科大学で身につけた能力は、これからの人生に必ず役立つと確信している。大切なことは、卒業後も常に学びたい気持ちを持ち続け、実行すること」と告辞を述べた。

学業が優秀な学生学部生3人・大学院商学研究科現代商学専攻博士前期過程1人・大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻1人を表彰。また、本学の名誉を著しく高めた者や学生論文賞受賞者も表彰した。

大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻の三上淳さん(45)は、学業が優秀な学生として表彰され、「札幌でコンサルタントとして働く傍ら、学び直そうと入学し2年間を過ごした。ここでは、企業分析やレポートなど、十分に鍛えられしっかりと学べた。仕事をしながら、寝る時間を惜しんで学び、沢山の優秀なメンバーの中から選ばれたことはとても光栄です」と話した。

今年度の同校就職状況は、昼間・夜間主コース513人の卒業生のうち、就職希望者は483人・内定者479人・99.2%の内定率。各コース別では、昼間コース99.3%・夜間主コース97.4%の内定率となった。非就職者21人・進学者9人。

就職先については、公務員に77人が内定し、昨年度の83人がこれまで最高(18%)。商学部でありながら公務員の人気が高い傾向が続いている。

大学院(修士)修了者45人の卒業生のうち、就職希望者は38人で内定者38人・100%の内定率。非就職者は7人・進学者0人。

大学院最高齢修了者は、アントレプレナーシップ専攻の67歳。商学部では45歳が最高齢卒業者となった。

現代商学専攻博士前期過程11人のうち、留学生修了者が7人(ロシア1・マダガスカル共和国1・中華人民共和国5)。外国人が増えている。

◎[小樽商科大学](#)

◎[関連記事](#)



### 統合3大学卒業生らの意見募集

2022年4月の経営統合を予定する小樽商科  
大学、帯広畜産大学、北見工業大学の北海道内3  
国立大学は、卒業生や企業を対象にした大学連携  
に関する調査に乗り出した。大学の経営統合や教  
育連携に対する学外の意見を吸い上げ、統合作業  
に反映させる考えだ。

調査は07年3月～16年3月の3大学合わせた卒  
業生・大学院修了生ら約1万2千人のほか、採用  
実績がある企業約5千社などが対象。期限は27日  
までで、インターネットによる選択式や自由記述  
での質問に回答を求める。